

佐野短期大学シラバス2013

| 科目名 Subject Name | | 開講年次 | 開講学期 | 曜日・時限 |
|--|---|-----------|------------------------------------|--------------|
| コンピュータリテラシーⅡ Computer literacyⅡ | | 1年 | 後期 | 別途、時間割参照 |
| 単位数 | 授業の形態 | | 授業の性格 | |
| 1単位 | 演習 | | 選択 (保育士ユニット、教員養成(幼稚園)を履修する者は必修) | |
| 当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目 | | | | |
| コンピュータリテラシーⅠ(必須条件) | | | | |
| 同時に履修しておくことが望まれる科目 | | | | |
| なし | | | | |
| 担当者に関する情報 | | | | |
| 氏名 | | 研究室の場所 | オフィスアワー | 電話番号・メールアドレス |
| 稲見崇司、立川聡子、亀田和則、小林大輔 | | 別途、授業にて指示 | 別途、授業にて指示 | 授業中に指示します |
| 授業の概要 | | | | |
| 表計算ソフト(Excel2010)の基礎知識および技術を演習を通じて習得する。 | | | | |
| 授業の到達目標 | | | | |
| クラウドサービス(SkyDrive)の利用、Excelの様々な機能(グラフ作成、関数、絶対参照と相対参照、ワークシートの書式設定、データベース)を使いこなすことができるようになる。 | | | | |
| 授業の方法 | | | | |
| 教科書に沿った演習 | | | | |
| 学習の成果 | | | | |
| ①SkyDriveを利用しファイルを提出することができる。②Excelの様々な機能を使い情報の整理をすることができる。 | | | | |
| 授業のスケジュールと内容 | | | | |
| 第1回目 | ガイダンス(学習成果、成績評価)、教科書の演習1(第5章) | | | |
| 第2回目 | 教科書の演習2(第5章) | | | |
| 第3回目 | 教科書の演習3(第5章) | | | |
| 第4回目 | 教科書の演習4(第5章) | | | |
| 第5回目 | 教科書の演習5(第5章) | | | |
| 第6回目 | 教科書の演習6(第5章)、7回目の授業前日までに教科書の演習を終了しSkyDriveにファイルを保存すること、次週実施する試験問題の発表。 | | | |

| | | | |
|---|--|----|--|
| 第7回目 | ワークシートの書式設定とグラフ作成の中間試験(20分)、試験の解説、SkyDrive上のファイルの確認 | | |
| 第8回目 | 教科書の演習1(第6章)、ワークシートの書式設定とグラフ作成の再試験 | | |
| 第9回目 | 教科書の演習2(第6章) | | |
| 第10回目 | 教科書の演習3(第6章) | | |
| 第11回目 | 教科書の演習4(第6章) | | |
| 第12回目 | 教科書の演習5(第6章) | | |
| 第13回目 | 教科書の演習6(第6章)、14回目の授業前日までに教科書の演習を終了しSkyDriveにファイルを保存すること、次週実施する試験問題の発表。 | | |
| 第14回目 | 関数と絶対参照と相対参照およびデータベースに関する期末試験(20分)、SkyDrive上のファイルの確認 | | |
| 第15回目 | 試験の解説 | | |
| 成績評価の方法と基準 | | | |
| | 評価の領域 | 割合 | 評価の基準 |
| 授業参加態度 | | | |
| レポート | 10% | | SkyDrive上のファイルの満点の条件は、「ファイル名が指定された通りで教科書で指示された機能を十分に活用し、期間内に提出されている」である。 |
| 調査報告書 | | | |
| 小テスト | | | |
| 中間・学期末試験 | 90% | | 中間と期末試験でそれぞれ45%ずつの配分となる。それぞれの満点の条件は、「指定された機能を使いこなすことができる」である。 |
| 発表内容(態度含む) | | | |
| その他 | | | 教科書を忘れた場合は、一回につき5点ずつ減点する。 |
| 教科書と参考図書 | | | |
| 教科書:30時間でマスターWord&Excel2010(実教出版)。※必ず購入し、第一回目の授業から持ってくること。 | | | |
| 履修上の心得・ルール | | | |
| 操作方法がわからないときは、原則として教員へ質問するが、隣の友達に質問をしてもよい。ただし、私語は慎むこと。小テストの追試験について、学園生活に記載されている追試験の条件①-⑤に該当する場合のみ、受け付ける。コンピュータ教室は常に飲食厳禁である。 | | | |